

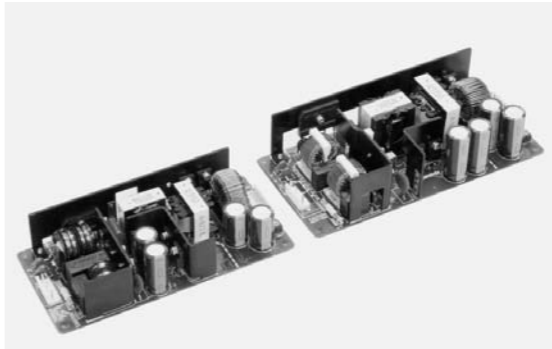
■ 電機・電子部品 ■

節電の夏 新たな技術でその先に

電子部品 省エネ加速

広範囲で 高効率実現

電子部品各社は機器のエネルギー消費量を削減するため、電力の変換効率が高い電源製品の開発に力を入れる。直近では機器が動作している高負荷時だけでなく、待機時(無負荷時)を含んだ広範囲で高効率を実現する製品も投入。一段の省エネを可能にする。また、蓄電池の開発も相次いでおり、太陽光発電などと組み合わせることでピーク時の電力使用量削減に貢献する取り組みが加速している。



機時の電力も0.15ワット程度に抑えた。従来は大量生産が求められる製品はマレーシアで生産していたが、顧客対応の迅速化を目的に新

製品の国内生産を実施。生産方式の無駄を徹底的に省いて国内でも海外に負けないコスト競争力を確保している。サンケン電機は待機時の消費電力を削減するスイッチング電源用ICの開発を進める。昨年には無負荷時の消費電力を従来の25%から業界トップクラスとなる

消費電力`見える化`、電源全体で効率運用

10ミリに抑えた製品を投入した。また、最近ではこうした独自開発のICにコイルなどの周辺部品を組み合わせたモジュール(複合部品)化したDC/DC(直流/直流)

電機各社 機能に知恵

節電の夏がやってくる。白熱電球に比べて消費電力を大幅に削減できる省エネ電球(LED)の普及が、全体的な効率を上げていく。白熱電球に比べて消費電力を大幅に削減できる省エネ電球(LED)の普及が、全体的な効率を上げていく。

蛍光灯器具 リサイクル

オフィス向け需要では、蛍光灯の代替となる直管形LED照明に期待が高まっている。そこで問題となるのが既存の蛍光灯の取り扱いだ。アイリスオーヤマは、DHLサプライチェーンと共同で、使用済み蛍光灯の回収・リサイクルビジネスを始めた。アイリスオーヤマがオフィスや施設などでLED照明器具を導入する企業に対し、既存の蛍光灯器具のリサイクルを提案し、回収はDHLサプライチェーンが行う。交換時にリサイクルのプロセスを一貫して担うこと

色鮮やかに 癒やし効果

八重桜とソメイヨシノの「さくら色」を搭載し、癒やしや安眠効果も実証できたという。岡田守行常務執行役員は、「使った前と後、対して気持ちの落ちつきが、まぶしい照明が苦手な人が、そういった問題をなく、製品に自信をもてる。明るさや省エネ性だけでなく、分か



「さくら色」で差別化を狙うシャープのLED照明

LED、ルームエアコン アイデア勝負の様相



「じゃんけん」など言葉に反応してゲームができるなど遊び心も追求した東芝ホームアプライアンスのルームエアコン

ズムにあわせた調光機能を持つLEDシーリングライトを投入した。生体リズムの一種である「サーカディアンリズム」を利用し、昼間は白色、夕刻以降は電球色など、時間

太陽光発電 最大限活用

蓄電池の分野でも取り組みが活発化している。太陽光発電と組み合わせることで自然エネルギーを最大限活用し、節電に生かす動きが多い。大規模太陽光発電所(メガソーラー)の拡大を背景に需要が見込まれる太陽光パネル、大手メーカーの京セラは7月からの再生可能エネルギー全量買い取り制度の導入を控え、ゴールデンウィークも稼働して供給体制の準備を進める。さらに、同社はニチコンと連携して太陽光発電

とリチウムイオン二次電池搭載の家庭用蓄電池を組み合わせた新システムを開発。蓄電池を利用してピーク時の電力使用量を抑制するほか、停電時の電力確保に役立てる。4月1日から受注を開始し、7月中旬から出荷する。太陽電池や制御技術と組み合わせて年販1万件を目指す。また、FDKはニッケル水素電池を活用した産業機器向けのバックアップ電源の開発に乗り出している。電子部品で培った技術を生かすことで電力消費量の見える化や寿命予測などを展開、「ニッケル水素電池はリチウムイオン電池に比べて安全性が高く、低コストで材料も自然に優しい。産業用途向けの開拓に力を入れていく」(望月道正社長、方針だ。

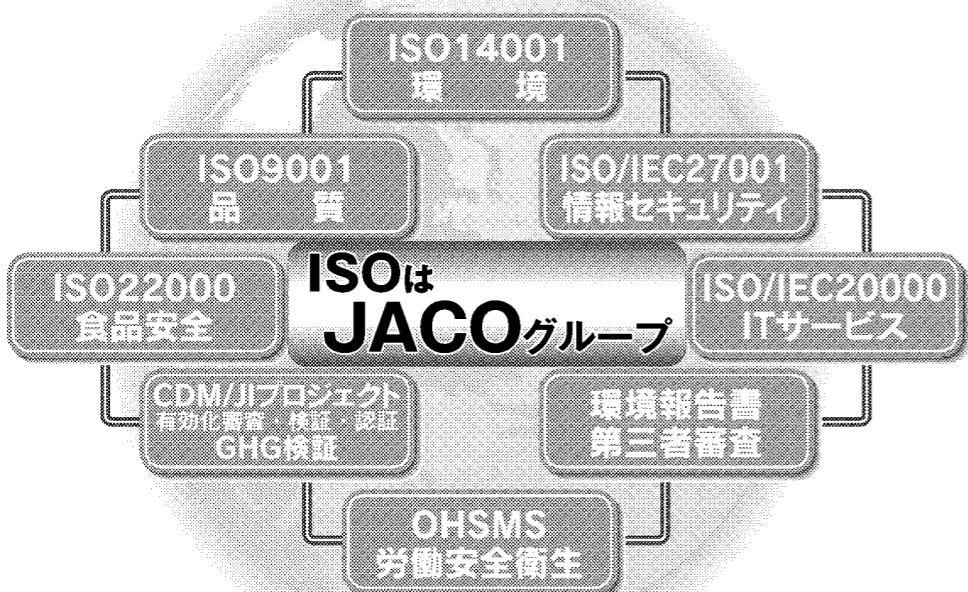
技術の頂点へ再び

全てのお客様に満足を! より早く、より簡素に、心をこめて



(株)日本環境認証機構(JACO)は、創業以来「お客様の経営に役立つ」質重視の審査をモットーとした「環境・品質・食品安全・労働安全衛生」など国内でも有数の総合ISO認証機関。2010年10月1日にグループ会社である(株)日本情報セキュリティ認証機構(JACO-IS)と合併し、情報セキュリティを含めた統合マネジメントシステムのサービスをより充実。併せて2010年10月1日からDNVビジネス・アシュアランス・ジャパン(株)と資本提携しグローバル認証や高信頼性認証の各サービスをさらに充実させ提供しております。

また、グループ会社の(株)JACO CDMは、GHG(温室効果ガス)検証について国内外で豊富な審査実績を持ち、グループの経験豊富な審査員による同時/統合審査や排出量取引スキームのサービスを提供いたします。



JACOは、UKAS^{※1}とJAB^{※2}とJIPDEC^{※3}の認定を受けており、ISO総合認証機関として環境、品質、食品安全並びに情報セキュリティ、ITサービスなどみなさまのISO認証と教育をお手伝いします。JACO CDMでは、GHG検証や排出量取引スキームなどを承ります。

※1: 英国の認定機関 公益財団法人 日本適合性認定協会
※2: 日本の認定機関 一般財団法人 日本情報経済社会推進協会
※3: 日本の認定機関

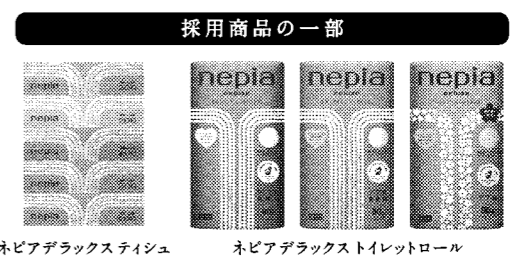
株式会社 日本環境認証機構 (JACO) 〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル TEL:03-5572-1722
関西支社/名古屋営業所/金沢営業所/札幌営業所 東京営業グループ ☎0120-248152
株式会社 JACO CDM 〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル TEL:03-5572-1753

ISOのこと、JACOのこと、くわしくは・・・<http://www.jaco.co.jp/>

王子製紙グループ ネピアは、紙づくりを 森づくりから 考えました。

適切に管理された森をつくることで、地球にやさしい商品ができました。その取り組みにより、ネピアのティッシュやトイレットロールは、FSC®認証紙として認められました。これからも順次、ネピア製品にFSC®認証紙を取り入れていきます。

FSC®認証紙とは、森林を適切に管理し、その森林から生産された木材を使った製品と認証された紙です。FSC®認証紙を採用し、FSC®マークをつけることで世界の森林保全の推進につながります。



ネピアブラックスティッシュ

ネピアブラックストイレットロール



やわらかハート
nepia
王子製紙グループ

出展 募集中

2012年10月17日(水)⇒19日(金)
10:00~17:00(最終日 16:30)

2012 洗浄総合展

2012 土壌・地下水環境展

除染対策総合ゾーン

共通企画

2012年 6月29日(金)
募集締切

お問い合わせ
「2012洗浄総合展」
「2012 土壌・地下水環境展」事務局

日刊工業新聞社 事務局 イベント事業部
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1
TEL: 03-5644-7221 FAX: 03-5641-8321 e-mail: j-event@media.nikkan.co.jp